



ニュースリリース

—森がはぐくむ— 札幌芸術の森 開園 30 周年記念事業 概要

札幌芸術の森は、2016 年の今年、開園 30 周年を迎えました。

1986 年 7 月 27 日に一部オープンした芸術の森は、その後、芸術の森美術館やクラフト工房の建設、アートホールの増築、野外美術館の三期に渡る拡張工事を続け、1999 年に野外美術館が完成、2008 年に子どもアトリエが完成し、現在の形になりました。

自然と芸術がともにある札幌芸術の森は、国内でも珍しい野外美術館、芸術の森美術館での企画展、アートホールを中心とした音楽・ダンス・演劇などの舞台芸術事業、工房群での工芸講習会事業、野外ステージでのジャズフェスティバルや PMF ピクニックコンサートなど様々な分野の事業を実施し、オープン以来、900 万人を超えるお客様にご来園いただいています。

2016 年は、開園 30 周年を記念し、美術・工芸・音楽分野での記念事業を行うとともに、多様なラインナップの主催事業を展開します。また、記念事業開催期間中の 7 月末から 8 月上旬には「芸森バースデーウィーク」と題し、野外美術館を無料開放し、芸術の森の多彩な魅力を皆様に楽しんでいただく予定です。

1986 年、野外美術館の作品「北斗まんだら」として石と並び植樹されたアカエゾマツは 2016 年の今、高くそびえ立つ大木の森となり、4 本の木彫作品「四つの風」は 3 本が土に還り、新たな命を繋いでいます。豊かな自然とともに芸術の森が育んできた様々な事業では、感動や驚きとともに新しい出会いや作品、活動が生まれ、広がっています。

札幌芸術の森は、これからも、様々な事業を通し、人々の豊かな創造をはぐくむ場所であり続けます。

- ・札幌芸術の森 30 周年キャッチ&ロゴ
- ・札幌芸術の森 30 周年記念事業について
- ・2016～2017 年 札幌芸術の森主催事業について

【お問い合わせ】

札幌芸術の森 管理課 TEL 011-592-5111 FAX 011-592-4120

〒005-0001 札幌市南区芸術の森 2 丁目 75 番地 <http://www.artpark.or.jp>

1 札幌芸術の森 30 周年 キャッチ&ロゴマーク

キャッチは「もりもり」。

芸術の森には自然がもりもり、いろんな事業がもりもり、楽しさがもりもり！！

30 年という年月を重ねた芸術の森の営みは、自然豊かな森自体を育み、多彩な事業を育み、個性輝く人を育み、子どもたちを次世代の心豊かな大人へと育みます。



開館 30 周年記念ロゴマークでは、30 という数字からたくさんの芽が出ています。30 年間に育った様々な芽とともに、これからも新しい色々な芽が出ていきます。

このロゴマークには、わくわくすることが「もりもり」ある芸森、誰からも親しまれる芸森でありたい、という思いが込められています。

※「もりもり」の後ろにある芸術の森のシンボルマークは、開園前、一般市民の方からの公募により選ばれたデザインを基に作られ、親しまれてきました。このデザインの補作に協力した北海道デザイン協議会の会員であったデザイナー・池田信氏の下で学んでいた三善俊彦さんと事務所スタッフが今回のロゴを制作して下さいました。30 年を経て、このシンボルマークが今年のキャッチ「もりもり」と温かみのあるデザインで一緒になりました。

【三善デザイン事務所】

主な仕事は北海道立近代美術館や各地方美術館の VI や美術展の仕事。モエレ沼公園やアルテピアッツア美唄、JR タワーのアート関連の仕事。アーティストや建築家の作品集やホームページの仕事等々。主な受賞歴：2002～2008 年 北のペーパーコンテスト最優秀賞、優秀賞、会長賞、北海道知事賞、竹尾賞、日清紡賞、各部門賞、他多数受賞 2004～2014 年 SapporoADC 審査委員賞、〈ブック・エディトリアル部門 銅賞〉、〈環境・空間・サイン・ディスプレイ部門 銅賞〉、〈ジェネラルグラフィック部門 銅賞〉

2 30周年記念事業

30周年記念事業は、美術、工芸、音楽の各分野から、芸術の森の空間を活かし、時間をかけて芸術の森がはぐくんできた事業を企画し、開催します。

芸術の森美術館

樹をめぐる物語 フランスの風景 —ユローからモネ、ピサロ、マティスまで—
キャンパスの樹に込められた想いをみつめて 2016.7.9～8.21



「樹木」は、いつの時代にあっても人に寄り添い、その場で動かずに四季の移ろいを伝え、時の流れを共に見続ける人間の伴侶として受け止められてきました。本展は「樹木」に焦点をあて、ロマン派にはじまりバルビゾン派、印象派、新印象派、ポスト印象派、象徴派、フォーヴに至るまで、1850年から1920年のフランス近代風景画において「樹木」がどのような役割を果たしてきたのか、画家たちが「樹木」をどのように描き、自らの芸術を高めるために用いてきたかを展覧します。会期中は“芸術の森の樹をめぐる”企画もあわせて開催します。

フェリックス・ヴァロトン《オンフルールの眺め、朝》1912年 油彩、キャンヴァス

オワーズ県美術館、ボーヴェ (c) RMN-Grand Palais/ Martine Beck-Coppola / distributed by AMF

工芸館

北の織 いま昔 北海道だからこそ育まれた“織り”の魅力に触れる
2016.7.16～9.25



札幌芸術の森工芸館では、北海道で育まれる工芸文化に目を向けた企画として、これまでも北の地で活躍するクラフト作家と、彼らが手がける数々の作品を紹介してきました。

本展は、“北の織”というテーマのもと、北海道の歴史や風土を背景に特有の表現を続けてきた織の世界を、歴史的資料や現代の作品を展示し紹介します。北海道での織文化がこれまで辿ってきた歴史、現代まで繋がられてきた織の伝統、新たな位置づけとしての織の存在をまとめて紹介する初の試みとなります。

札幌芸術の森国際ユースジャズキャンプ

JAZZ を通じて札幌から、北海道から広がる交流の輪

2016.7.31～8.6

小学生・中学生を対象とする札幌ジュニアジャズスクールが札幌芸術の森で誕生して今年で17年を迎えます。また、今年がサッポロ・シティ・ジャズ開催10年目の記念の年でもあります。2016年夏、ジャズを学ぶ国内外の子どもたち200名を芸術の森に集め、一週間のワークショップを行い、8月6日、野外ステージでのノースジャムセッションにおいて合同ライブを開催します。国や地域を越えた交流の中で、次代を担う子どもたちの豊かな情操を育みます。



札幌芸術の森バースデーウィーク

記念事業&もりもり企画で市民の皆様と祝う、芸森のハッピーバースデー9日間

2016.7.30～8.7

芸森誕生日の7月27日後の30日（土）から8月7日（日）までの9日間は、「バースデーウィーク」と題し、3つの30周年記念事業を開催するほか、野外美術館を無料開放、園内ではジャズコンサートやアートマーケットをはじめとする日替りイベントや、いつもは閉園している朝や夜の時間帯に楽しんでいただくプログラムを開催。また、期間中、手作り装飾したやぐらを広場に設置し、ご来園のみなさまとともに、北海道で生まれた縄文太鼓の音色にあわせオリジナルのBON!ダンスで芸森の30年を祝います。



2016.4 ~ 2017.3

札幌芸術の森主催事業

30周年記念事業を含め、2016年の芸術の森は、
魅力ある事業をもりもり！開催します。

【育成事業】

第17期札幌ジュニアジャズスクール	4/9~2017.3/12
札幌芸術の森30周年記念 国際ユースジャズキャンプ	7/31~8/6
札幌芸術の森バレエセミナー2016	8/5~8/9
子どもの美術体験事業 ハロー!ミュージアム	6/8~2017.2/23

【美術館/展覧会事業】

進撃の巨人展 SELECT WALL SAPPORO	4/5~5/25
有元利夫 10年の絵と譜	6/4~7/3
札幌芸術の森30周年記念 フランスの風景 樹をめぐる物語	7/9~8/21
エッシャーの世界	9/3~10/16
札幌美術展 柿崎熙展	2017.1/28~3/26

【音楽・舞台芸術事業】

サッポロ・シティ・ジャズ エゾグループ2016	4/1~2017.3/31
サッポロ・シティ・ジャズ ノースジャムセッション	8/6
芸森アートマーケット	4/9~11/3
フォレスト・オブ・ニューアーツ	2月予定

【工芸館/展覧会事業】

日本クラフト紀行7 鳥取と岡山~ももてなしのクラフト	4/23~6/19
北海道陶芸展	6/25~7/10
札幌芸術の森30周年記念 北の織 いま昔	7/16~9/25
第1回日本陶磁協会「現代陶芸奨励賞」北海道展	10/8~11/13
0さいからつくるげいじゅつのもり	11/26~3/26

【工芸講習会事業】

工芸(陶芸/木工/染色/手織/七宝/ガラス/金工)・版画講習会	4/1~2017.3/31
---------------------------------	---------------

【園内イベント】

スプリングフェスタ	4/29
札幌芸術の森30周年記念 芸森バースデーウィーク	7/30~8/7
あったかサンキューデー	11/3
雪あかりの祭典	1/28